

提 供 日 2025/3/13

タイトル 新たな地域連携のかたち 研究テーマ公募型研究スタート。

担 当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学

地域・産学連携推進室

発信担当者 054-264-5124



静岡県立大学記者提供資料

## 研究テーマ公募型共同研究採択 4 件 地域企業と大学による新しい地域貢献

報道機関の皆様におかれましては、取材に御協力をお願いします。

このたび、昨年に引き続き、新しい産学連携の取り組みとして、株式会社テクノスルガ・ラボ（静岡市清水区）からの共同研究テーマの公募に対し、静岡県公立大学法人（静岡市駿河区）の若手研究者が応募し、4 件が採択されました（別紙）。

これまでは、大学教員の持つ研究シーズに興味を持った企業が、大学にアクセスし契約締結する流れが一般的でしたが、企業が、大学教員に広く共同研究テーマを募り、教員からの提案を受けて研究を行う新しい形の「公募型」共同研究です。

（目的）

この 4 月から 1 年間（最長 1 年間延長）共同研究を行い、面白い“芽”を出すことを目指します。特異的な研究成果が得られた場合には、成果発表や共同研究を継続して応用研究を行い、特許権利化などを行った上で、事業化できる企業を募り、地域から新事業を興すことを最終ゴールとしています。

公募期間：令和 6 年 10 月 28 日（金）から 12 月 24 日（火）

選考過程：1 次書類選考（令和 7 年 1 月）、2 次プレゼンテーション（2 月）

（コメント）

○株式会社テクノスルガ・ラボ

「地域産業の振興に、当社で何ができるかと考えた時に、同じ地域にある静岡県公立大学法人の持つ知見と当社の持つ技術力を活かして、共同研究を公募することとした。同事業で面白い“芽”が出れば、引き続き共同研究をお願いし、事業化する企業を募り、新たな事業を興すことで地域貢献できればと考えている。」

○静岡県公立大学法人

「昨年度採択された 3 件も、成果の芽が出ている。若手研究者のモチベーションになる取組みとして、若手研究者の持つ独創性や課題突破力に非常に期待している。」

（お問合せ先）

株式会社テクノスルガ・ラボ  
代表取締役社長 望月 淳  
〒424-0065  
静岡市清水区長崎 388 番地の 1  
電話：054-349-6211

静岡県公立大学法人  
地域・産学連携推進室  
〒422-8526  
静岡市駿河区谷田 52-1  
電話：054-264-5124

(今回採択された共同研究テーマ) 研究期間：R7.4.1～R8.3.31

| 研究課題名                                | 研究代表者               |
|--------------------------------------|---------------------|
| T4 ファージの酵素を利用した迅速な等温核酸増幅法の開発         | 薬学部<br>准教授 児島 憲二    |
| 大腸杯細胞の分化に寄与する腸内細菌叢、腸内環境の解析           | 薬学部<br>助教 中西 勝宏     |
| 不眠・せん妄患者の腸内細菌叢の構成変化と腸内細菌由来物質産生量との関連性 | 薬学部<br>助教 杉山 恭平     |
| 変形菌のゲノム解析                            | 食品栄養科学部<br>助教 梅澤 和寛 |

(参考) 令和6年度に採択された共同研究テーマ 研究期間：R6.4.1～R7.3.31

| 研究課題名                             | 研究代表者               |
|-----------------------------------|---------------------|
| 敗血症時感染菌による頻脈性心室性不整脈の発症機序の解明       | 薬学部<br>助教 清水 聡史     |
| 静岡県産農産物を用いた口臭ケア食品の開発              | 薬学部<br>講師 刀坂 泰史     |
| 黄色ブドウ球菌の毒性発現に対する皮膚常在菌の同定とその代謝物の影響 | 食品栄養科学部<br>助教 島村 裕子 |